

新草津ウェイストパーク 一般廃棄物最終処分場（事業概要）

■はじめに

平成 4 年に全国のモデル処分場となるべく設置した草津ウェイストパーク(一般廃棄物最終処分場)は近隣住民の方々をはじめ、草津町、群馬県のご指導とご協力のもと適正な維持管理に、まさにモデル処分場として近年の廃棄物処理に係る対応技術の向上や対応プロセスの整備の先駆けとしての役割を十分に果たして参りました。

当社は総合リサイクル企業として循環型社会の構築を担うべく「廃棄物を通じて社会に貢献」を目指し、これまでの豊富な実績を踏まえ既存施設(第一期、第二期)に隣接する南側の山林 11.07ha(既存施設を一部含む)に「新草津ウェイストパーク」を完成しました。

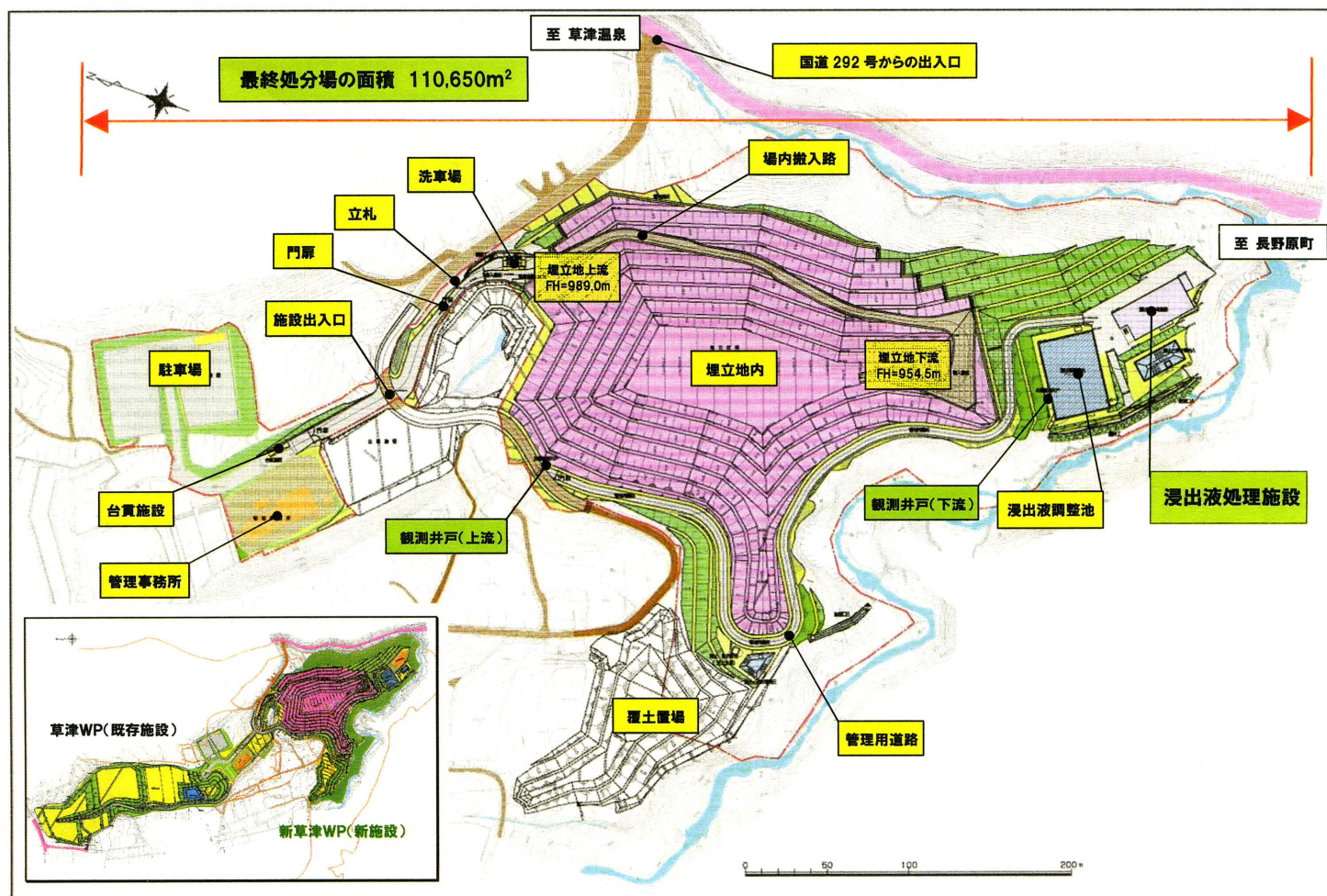
■施設概要

- 施設の名称 新草津ウェイストパーク
- 施設の種類 一般廃棄物最終処分場
- 処理する一般廃棄物 焼却灰、ばいじん及び不燃物残渣
- 所在地 群馬県吾妻郡草津町大字前口字井堀 140 番外 78 筆
- 許可の年月日 平成 20 年 11 月 19 日 許可番号:群馬県第 327-0 号
- 処理能力 埋立地の面積 41,866m²
埋立容量 850,000m³



- 設置の経緯 平成 20 年 6 月 4 日 群馬県廃棄物処理施設設置等事前協議終了
11 月 19 日 一般廃棄物処理施設設置許可
11 月 21 日 工事着工(工事期間約 13 ヶ月)
平成 21 年 12 月 25 日 施設使用前検査
平成 22 年 1 月 8 日 施設完成検査結果通知
2 月 2 日 埋立開始

■埋立計画平面図(施設完成時)

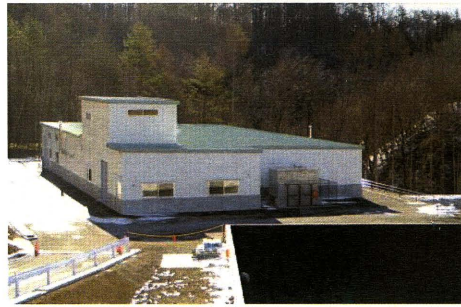


循環型社会の構築を担うべく「廃棄物を通じて社会に貢献」する企業

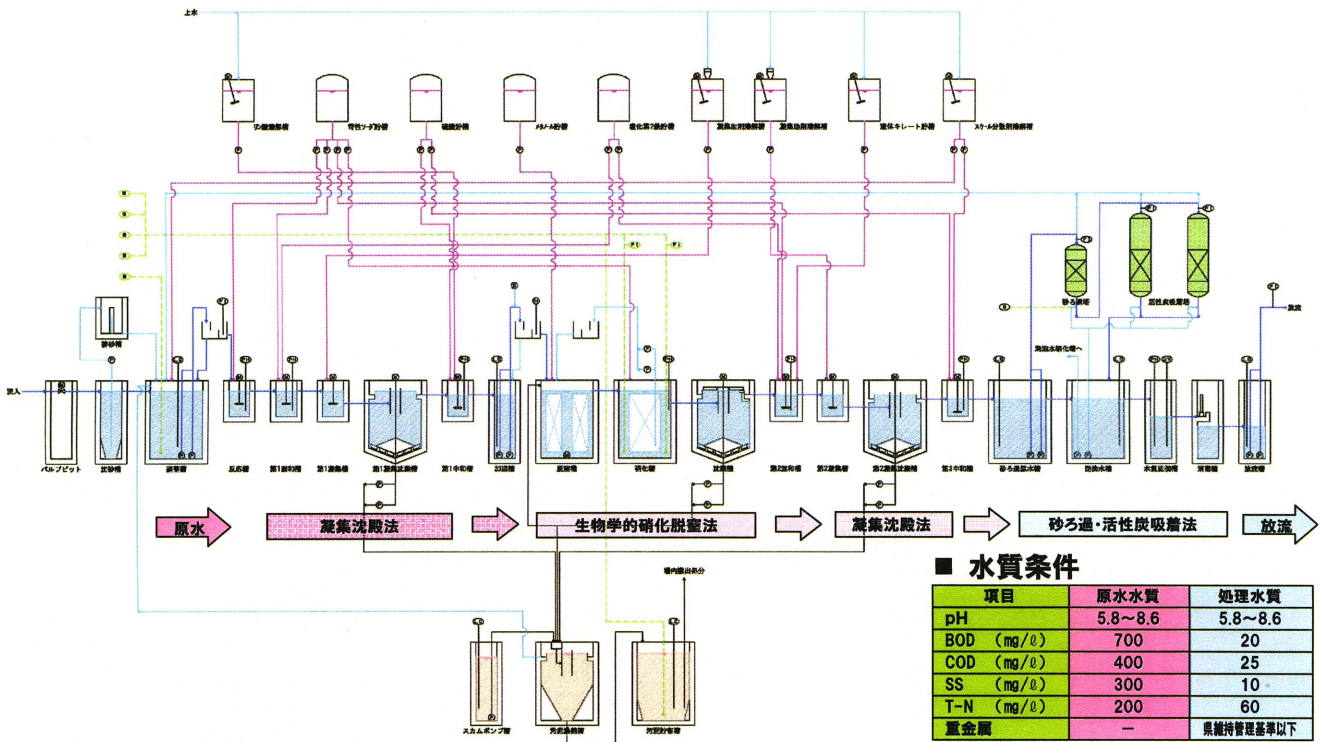
■ 浸出液処理施設のシステム

■ 施設概要

処理能力: 200m³/日
 調整槽容量: 1,000m³
 浸出液調整池: 10,000m³
 処理方式: 凝集沈殿法
 生物学的硝化脱窒法
 凝集沈殿法
 砂ろ過・活性炭吸着法

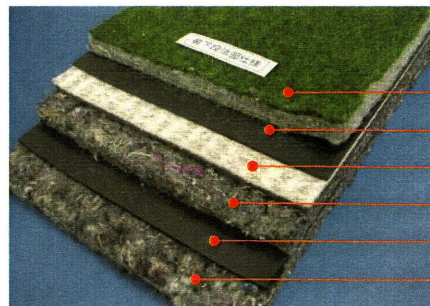


■ 浸出液処理フロー



■ シャ水工

- シャ水構造: 表面シャ水工(2重構造)
- 敷設面積: 法面 約 46,500 m²
底面 約 5,700 m²
- 使用材料: 遮水シート(t=1.5mm)
材質 合成樹脂系の熱融着タイプ
ポリエチレン(PE)を成分とする
熱可塑性ゴムシート
- 製品名: プレミアムシート(高規格 TPO-PE シート)
TPO(Thermo Plastic Olefin)
熱可塑性 樹脂 オレフィン系



■ 6層仕様シャ水シート (最下段法面部使用)

- ・遮光性保護マット 10.0 mm
- ・シャ水シート(プレミアム) 1.5 mm
- ・自己修復材(コスモバリアス) 4.0 mm
- ・保護マット 10.0 mm
- ・シャ水シート(プレミアム) 1.5 mm
- ・保護マット 10.0 mm



株式会社 ウィズ ウェイスト ジャパン